

平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
香芝市	香芝市立真美ヶ丘西小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

1年生が「えがおいっぱい！ともだちっていいな」をテーマに、子どもたちが自分を知り、「ひと」とよくかかわり、つながることを基盤にして、一年間、人権生活総合学習に取り組んできた。

2 取組の概要

1学期、入学したての1年生が、まず2年生に案内してもらいながら学校めぐりをした。その後1年生だけで、友だちと協力し合っってインタビューをしながら学校探検を行った。そして、聞き取った真美ヶ丘西小学校の秘密を、「命かがやき集会（全校集会）」で全校のみんなに発信した。

地域の方々による支援活動では、校区在住のボランティア登録されている方に野菜博士としてゲストティーチャーとして来ていただき、サツマイモの上手な植え方を教えていただき、育て方の伝授をしていただいた。

また、校区自治会の「花の会」の方々に来ていただき、子どもたちと一緒に花の苗を植えていただいた。



『野菜博士とサツマイモ植え』

2学期、5・6年生の飼育委員に教えてもらいながらウサギの世話をした。そして、動物と触れ合う活動の延長で、遠足では牧場（ラッテたかまつ）に行き、牛の乳搾り体験をしたり、バターやアイスクリームを作ったりした。

さらに、奈良獣医師会の先生方をゲストティーチャーに迎え、保護者の方たちにも手伝ってもらいながらウサギや犬と自分の心音を聞き比べたり動物を抱っこしたりして、「ヒトも動物も生きていること」を実感した。



『ウサギの心臓の音を聴いたよ』

また、1学期に植えたサツマイモを野菜博士のゲストティーチャーと一緒に収穫した様子を絵に描いたり、収穫したサツマイモを2年生におやつにしてもらって食べたりした。



『お手玉名人が技を伝授』

3学期、昔遊び（生活科の学習）でお手玉名人をゲストティーチャーに迎え、校区自治会の「ふれあい会」の方々に手伝ってもらいながらお手玉遊びを教わり、楽しく遊んだ。その際、「ふれあい会」の方々から手作りのお手玉をいただいた。後日、今度はお手玉のお礼に、子どもたちの方からふれあい昼食会（「ふれあい会」がボランティアで行っている高齢者の昼食会）に出

向いた。そこでは、6年生を送る会で発表した、「大きなかぶ」の英語劇（ALTに指導を受ける）を披露した。また、高齢者の方々とお手玉をしながらお話をし、お互いに楽しいひと時を過ごすことができた。